

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限)第三千六百八十九號

昭和十六年一月六日(月)

海軍大臣官房

## ○通牒

兵備二機密第一號

昭和十六年一月六日

海軍省兵備局長

各廳長殿

國民徵用規程ノ運用ニ關スル件申進

首題ノ件左記ノ如ク定メラレ候

記

國民徵用規程第二條ノ規定ニ依ル上申手續ハ昭和十六年三月迄ノ期間ニ出頭スベキ徵用員ニシテ既ニ書類提出済ノモノニ付テハ之ヲ省略シ同年四月以降出頭セシムベキ徵用員ニ付之ヲ爲スモノトス

## ○辭令

海軍機關中佐 松崎 正康

浦賀海軍監督官事務所及受持區域内ニ在ル艦裝員事務

海軍公報(部内限)第三千六百八十九號 昭和十六年一月六日

所ニ要スル旅費支拂ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス  
海軍機關中佐 松末 元完  
資金前渡官吏ヲ免ス(以上ヲ境前支出官 海軍省經理局長)

## ○雜款

○特務艦襟裳行動豫定表

地名	着	發
吳	一月七日	一月六日
尼ヶ	一月十日	一月九日
下松	一月十七日	一月十二日
馬公	一月十七日	一月十九日
吳	一月二十四日	

0481

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○一月六日午前十時

【横須賀】

山城▲赤城▲劍埼▲春日▲駒橋、  
神威、沖島、常磐、  
曙▲潮▲龍▲雷▲響、澤風

伊六▲

宗谷、知床

翔鶴▲(津輕)▲(伊二三)▲(伊一七)▲  
(伊三三)▲

【長浦】

國後、多摩  
磯風、浦風

伊一二三、伊一二四

【鶴見】

尻矢

【横濱】

電▲

(香椎)▲(筑紫)▲

【浦賀】

(萩風)▲(濱風)▲

【大湊】

神風、沼風、野風、波風

伊五二

【吳】

淺間、妙高▲扶桑▲、鬼怒、八雲、  
勝利、三隈

薄雲▲、早苗、吳竹、若竹

呂五七、呂五八、呂五九、伊五三▲  
伊七一、伊七二▲、伊一二二、伊一二三

掃一四、掃一三、掃一五、掃一六、  
攝津▲、樺野▲、襟裳、室戶

(日進)▲(伊九)▲(伊二七)▲(伊三五)▲

【大坂】

球磨▲

【神戸】

大井▲

伊三▲、伊六○

瑞鶴▲(伊一○)▲(伊一九)▲(伊二二)▲  
(伊二二)▲(伊二五)▲(伊三一)▲

【玉】

(石垣)

【因ノ島】

三日月▲

【舞鶴】

吾妻▲、長良▲、木曾

【佐世保】

(野分)▲  
羽黒▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳

菊月、朝風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六八、  
伊五九▲、伊六五▲、伊六八

【敷島】

(八丈)▲(伊一八)▲(伊二四)▲(伊二九)▲  
(伊三九)▲

【長崎】

野島

【鎮海】

朝顔、芙蓉

作樂地、出雲、安宅、比良、二見、熱海、鳥羽、勢多、  
堅田、保津、伏見、岡田、橋立、足柄、嵯峨、

占守、▽名取、□磐手、□長門、陸奥、  
 ▽日向、伊勢、▽比叡、霧島、▽加古、古鷹、  
 青葉、衣笠、▽阿武隈、▽川内、▽龍驤、  
 鳳翔、▽千歲、千代田、瑞穂、□高雄、愛宕、  
 鳥海、摩耶、▽那智、▽鈴谷、最上、熊野、  
 ▽利根、筑摩、▽神通、▽那珂、▽加賀、  
 ▽飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、□鹿島、  
 龍田、天龍、▽夕張、▽迅鯨、□香取、  
 大鯨、▽長鯨、▽五十鈴、▽嚴島、八重山、  
 ▽北上、▽由良

栗、梅、蓮、刈萱、峯風、□春風、旗風、  
 松風、朝風、□文月、皐月、水無月、長月、  
 □初春、初霜、若葉、子日、□白露、時雨、  
 有明、夕暮、□初雪、白雪、吹雪、□白雲、  
 東雲、叢雲、□綾波、浦波、磯波、敷波、  
 □夕霧、狹霧、天霧、朝霧、□秋風、羽風、  
 太刀風、夕風、□帆風、沙風、□卯月、夕月、  
 □追風、疾風、夕風、□曉、□暎、□早潮、夏潮、  
 親潮、黑潮、□初風、雪風、天津風、時津風、  
 □霞、霰、陽炎、不知火、□夕立、村雨、  
 春雨、五月雨、□朝雲、山雲、峯雲、夏雲、  
 □海風、涼風、江風、山風、□大潮、荒潮、  
 滿潮、朝潮、□陸月、如月、望月、彌生、  
 矢風

□呂三三、呂三四、□呂六二、呂六〇、

【航海中】

早瀬 (十二月十一日桑港發—佐世保へ)  
 石廊 (十二月十七日桑港發—吳へ)  
 沖風 (四日元山發—佐世保へ)

呂六一、□呂六三、呂六四、□呂六五、  
 呂六六、呂六七、□伊二、伊一、□伊五、  
 伊四、伊七、伊八、□伊一五、伊一六、  
 伊二〇、□伊五五、伊五四、□伊五六、  
 伊五七、伊五八、□伊六四、伊六一、  
 伊六二、□伊六六、□伊六九、伊七〇、  
 □伊七三、□伊七四、伊七五、  
 □鴻、隼、鴨、鵠、□雁、鳩、鷲、雉、  
 □初雁、真鶴、友鶴、千鳥、  
 掃一七、掃一八、□掃六、掃一、掃二、  
 掃三、掃四、掃五、□掃七、掃八、掃九、  
 掃一〇、掃一一、掃一二、  
 明石、鳴戸、鶴見、朝日、間宮、佐多

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限)第三千六百九十號

海軍大臣官房

昭和十六年一月七日(火)

## ○辭令

葛城丸	船長	井上 豊
同	一等運轉士	岩田 岩雄
同	二等運轉士	高木 照夫
同	首席一等機關士	竹越 要吉
同	次席一等機關士	上田 一男
同	首席二等機關士	大井 春喜
同	次席二等機關士	田中 公直
同	事務長	白石 正計
同	機關長	竹田谷 片二
同	二等運轉士	生駒 文雄
同	通信局長	高橋 小平次
(以上昭和十三年八月二十日附)		
葛城丸	三等運轉士	永田 増實
(昭和十三年十二月二十三日附)		
葛城丸	機關長	石 橋 肇
(昭和十三年十二月二十五日附)		

## (各通)

葛城丸	通信局長	栗原 芳真平
(昭和十三年十二月三十日附)		
葛城丸	機關長	日紫喜 禮一
同	二等機關士	楠 仙次郎
(以上昭和十四年八月二十五日附)		
葛城丸	一等運轉士	齋藤 喜幸
(昭和十四年十月一日附)		
葛城丸	二等運轉士	小笠原 頼夫
(昭和十四年十月二日附)		
葛城丸	首席二等機關士	宮木 玉男
(昭和十四年十二月二十日附)		
葛城丸	船長	前田 耕作
(昭和十五年三月十日附)		
葛城丸	一等機關士	宍倉 三郎
(昭和十五年三月十一日附)		
葛城丸	二等運轉士	酒賀 久三
(昭和十五年五月三日附)		
葛城丸	二等運轉士	高木 照夫
(昭和十五年六月十二日附)		

海軍公報(部内限)第三千六百九十號 昭和十六年一月七日

0484

葛城丸 機關長 重田 重才  
同 二等運轉士 石井 英夫  
(以上昭和十五年九月七日附)  
葛城丸 一等運轉士 兼 子 榮  
(昭和十五年九月八日附)

葛城丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス  
(海軍省)

葛城丸 機關長 竹田谷 片二  
(昭和十三年十二月二十五日附)

葛城丸 二等運轉士 生駒 文雄  
(昭和十三年十二月二十四日附)

葛城丸 通信局長 高橋 小平次  
(昭和十三年十二月三十日附)

葛城丸 機關長 石 橋 肇  
同 參席一等機關士 大井 春喜

同 事務長 白石 正計  
(以上昭和十四年八月二十六日附)

葛城丸 三等運轉士 永田 増實  
(昭和十四年八月二十一日附)

葛城丸次席二等機關士 田中 公直  
(昭和十四年八月二十三日附)

葛城丸 一等運轉士 岩田 虎雄  
(昭和十四年十月一日附)

(各通)

葛城丸 二等運轉士 高木 照夫  
(昭和十四年十月二日附)

葛城丸次席一等機關士 上田 一男  
(昭和十四年十二月二十一日附)

葛城丸 船長 井 上 豊  
(昭和十五年三月十日附)

葛城丸 一等機關士 竹越 要吉  
(昭和十五年三月十一日附)

葛城丸 二等運轉士 小笠原 頼夫  
(昭和十五年五月三日附)

葛城丸 二等運轉士 酒賀 久三  
(昭和十五年六月十二日附)

葛城丸 二等運轉士 高木 照夫  
(昭和十五年九月七日附)

葛城丸 機關長 日紫喜 禮一  
同 一等運轉士 齋藤 喜幸  
(以上昭和十五年九月八日附)

葛城丸ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(同)

海軍主計中佐 出本 鹿之助

海軍武官任用委員ヲ免ス

海軍軍醫少佐 近藤 美之

(各通)

海軍主計少佐 鈴木 恒雄

海軍武官任用委員ヲ命ス

0485



旗ヲ一時横須賀防備隊ニ移揚同日多摩ニ復歸セリ

第八戰隊司令官ハ昭和十五年十二月二十九日將旗ヲ一時筑摩ニ移揚セリ

○將旗復歸

第一遣支艦隊司令官ハ昭和十五年十二月二十八日將旗ヲ安宅ニ復歸セリ

○旗艦變更

第二航空戰隊司令官ハ昭和十五年十二月二十八日旗艦ヲ蒼龍ヨリ飛龍ニ變更セリ

○司令驅逐艦變更

第六驅逐隊司令ハ昭和十五年十二月三十日司令驅逐艦ヲ電ヨリ曉ニ變更セリ

○司令驅逐艦復歸

第二十一驅逐隊司令ハ昭和十五年十二月二十四日司令驅逐艦ヲ初春ヨリ若葉ニ復歸セリ

○司令潜水艦一時變更

第十九潜水隊司令ハ昭和十五年十二月二十五日司令潜水艦ヲ一時伊號第五十六潜水艦ヨリ伊號第五十八潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

自今當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

隊及司令宛

隊機關長、軍醫長、主計長宛

(第三驅逐隊)

自今當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

司令

隊機關長、軍醫長

主計長

(第六驅逐隊)

自今當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

司令宛

隊機關長宛

軍醫長宛

主計長宛

尙司令宛ニシテ各艇ヘモ關係アルモノハ直接各艇長宛ニ寫送付相成度

(第十一水雷隊)

第一水雷隊宛

自今

佐世保郵便局氣付

0487

尚司令宛ニシテ各艇ニ配付ヲ要スベキ書類ハ隊宛  
送付ト同時ニ關係各艇ヘ直送相成度

○事務所設置

阿蘇丸艦裝員事務所ヲ昭和十五年十二月六日大阪市此  
花區櫻島町大阪鐵工所内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

第四掃海隊事務所ヲ昭和十五年十二月二十四日舞鶴海  
軍港務部内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

追テ郵便物ハ左記ニ依リ送付相成度

記

東舞鶴郵便局氣付

舞鶴海軍港務部内 濱屋大佐

第三砲艦隊事務所ヲ昭和十五年十二月二十六日舞鶴海  
軍港務部内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

追テ郵便物ハ左記ニ依リ送付相成度

記

東舞鶴郵便局氣付

舞鶴海軍港務部内 山本大佐

○修業式

昨年十二月二十七日第五十一期操縦術補習生第四十九  
期偵察術補習生ノ修業式ヲ施行セリ

(博多海軍航空隊)

○試験問題發送

第二回水雷術機雷  
第一回水雷術水中測的  
右昨年十二月二十四日左記ノ通發送濟未着ノ向及別ニ  
必要ノ向ハ本校ヘ至急御通知相成度

記

一、聯合試験參加不加能ト認メラルル向ニハ直接其ノ  
他ハ各人事部長宛送付  
二、行動其ノ他臨時必要ノ分トシテ單獨試験用若干部  
數前記宛送付シ置ケリ

(海軍水雷學校)

○特設運送船金龍丸行動豫定

地名

着

發

横須賀	一月九日	一月七日
大湊	一月十七日	一月十五日
横須賀	一月二十一日	一月二十日
大阪	一月二十三日	一月二十二日
長崎	一月二十六日	一月二十五日
佐世保	一月二十八日	一月二十七日
西戶崎	一月三十一日	一月三十日



○艦船所在 指定ヲ要セズ

○一月七日午前十時

【横須賀】山城▲、赤城▲、劍崎▲、春日▲、駒橋、

神威▲、潮▲、隴▲、雷▲、澤風

伊六▲

宗谷、知床、尻矢

（翔鶴）▲（津輕）▲（伊二三）▲（伊一七）▲

（伊三三）▲

【長浦】國後、多摩

磯風、浦風

伊一二三、伊一二四

驅潜二三

哨一、哨二

【横濱】電▲

（香椎）▲（筑紫）▲

【浦賀】萩風▲（濱風）▲

神風、沼風、野風、波風

伊五二

哨三四、哨三五

【吳】大泊

淺間、妙高▲、扶桑▲、鬼怒、八雲、

勝力、三隈

薄雲▲、早苗、吳竹、若竹

呂五七、呂五八、呂五九、伊五三▲

伊七一、伊七二▲、伊一二一、伊一二二

掃一四、掃一三、掃一五、掃一六

驅潜五三

哨四六

攝津▲、櫻野▲、室戸、間宮

（日進）▲（伊九）▲（伊二七）▲（伊三五）▲

球磨▲

隱戸▲

大井▲

伊三▲、伊六〇

（瑞鶴）▲（伊一〇）▲（伊一九）▲（伊二二）▲

（伊二二）▲（伊二五）▲（伊三一）▲

（石垣）▲

三日月▲

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

哨三六、哨三七

【野分】▲

羽黒▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳

菊月、朝風、沖風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六八、

伊五九▲、伊六五▲、伊六八

哨三八、哨三九

敷島▲

（八丈）▲（伊一八）▲（伊二四）▲（伊二九）▲

（伊三九）▲

野島

【長崎】

海軍公報（部内限）第三千六百九十號 昭和十六年一月七日

0489

【鎮海】朝顔、芙蓉

【作業地】出雲、安宅、比良、二見、熱海、鳥羽、勢多、  
 堅田、保津、伏見、隅田、橋立、足柄、嵯峨、  
 占守、名取、磐手、長門、陸奥、  
 日向、伊勢、比叡、霧島、加古、古鷹、  
 青葉、衣笠、阿武隈、川内、龍驤、  
 鳳翔、千歳、千代田、瑞穂、高雄、愛宕、  
 鳥海、摩耶、那智、鈴谷、最上、熊野、  
 利根、筑摩、神通、那珂、加賀、  
 飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、鹿島、  
 龍田、天龍、夕張、迅鯨、香取、  
 大鯨、長鯨、五十鈴、嚴島、八重山、  
 北上、由良

栗、梅、蓮、刈萱、峯風、春風、旗風、  
 松風、朝風、文月、皐月、水無月、長月、  
 初春、初霜、若葉、子日、白露、時雨、  
 有明、夕暮、初雪、白雪、吹雪、白雲、  
 東雲、叢雲、綾波、浦波、磯波、敷波、  
 夕霧、狹霧、天霧、朝霧、秋風、初風、  
 太刀風、夕風、帆風、沙風、卯月、夕月、  
 追風、疾風、夕風、曉、響、漣、早潮、  
 夏潮、親潮、黒潮、初風、雪風、天津風、  
 時津風、霞、霰、陽炎、不知火、夕立、  
 村雨、春雨、五月雨、朝雲、山雲、峯雲、  
 夏雲、海風、涼風、江風、山風、大潮、  
 荒潮、滿潮、朝潮、陸月、如月、望月、  
 彌生、矢風

呂三三、呂三四、呂六二、呂六〇、

【航海中】

早鞆 (十二月十一日桑港發—佐世保)  
 石廊 (十二月十七日桑港發—吳)  
 襟裳 (六日吳發—尼崎)

呂六一、呂六三、呂六四、呂六五、  
 呂六六、呂六七、伊二、伊一、伊五、  
 伊四、伊七、伊八、伊一五、伊一六、  
 伊二〇、伊五五、伊五四、伊五六、  
 伊五七、伊五八、伊六四、伊六一、  
 伊六二、伊六六、伊六九、伊七〇、  
 伊七三、伊七四、伊七五、  
 伊鴻、隼、鶴、鵠、雁、鳩、鷲、雉、  
 伊初雁、真鶴、友鶴、千鳥、  
 掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、  
 掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、  
 掃一〇、掃一一、掃一二、  
 驅潛二、驅潛一、驅潛三、驅潛四、  
 驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、  
 驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、  
 明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多

0490

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限)第三千六百九十一號

海軍大臣官房

昭和十六年一月八日(水)

## ○通牒

軍需機密燃第二號

昭和十六年一月六日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

燃料等ノ貯藏供給ニ關スル件中改正ノ件  
通牒

昭和十三年軍需機密燃第二五七號首題通牒中一、貯藏ノ部(四)原料ノ貯藏ノ表中アルコロールノ項使用區分ノ欄「各種揮發油混合用」ノ下ニ「及混合用輕質原料ノ原料」ヲ加ヘネオヘキサンノ項ノ次ニ左記一項ヲ追加相成度

記

品 種	細 目	略 稱	記 號	使用區分
輕質原料	プローム	プローム	B r	混合用輕質原料ノ原料

航本機密兵飛第二二號

昭和十六年一月七日

海軍航空本部長

横須賀、吳、佐世  
保、舞鶴、鎮海、大  
湊、馬公(要港部)

海軍軍需部長殿

兵器附着拂整理ノ件通牒

在庫ノ九九式三番演習爆彈水平爆撃用射表ヲ在庫並ニ  
供用及ヒ貸與中ノ演習爆彈射表一部ニ一部宛附着拂整  
理スベシ

## ○辭令

甲谷陀丸	船長	村上時太郎
同	一等運轉士	小林正夫
同	二等運轉士	川村喜一
同	二等機關士	寺田京策
同	事務長	末永石太郎

海軍公報(部内限)第三千六百九十一號

昭和十六年一月八日

一三三

0491

(各通)

同 首席通信士 高橋 善藏  
(以上昭和十二年八月十四日附)

甲谷陀丸 一等機關士 竹 信 進  
(昭和十三年四月十三日附)

甲谷陀丸 船醫 内 藤 勇  
(昭和十四年五月二十七日附)

甲谷陀丸 機關長 齋藤 辰己  
(昭和十四年七月二十二日附)

甲谷陀丸 三等運轉士 山崎 五三  
(昭和十四年九月八日附)

甲谷陀丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(海軍省)

那智山丸 船長 菅原 憲司

同 一等運轉士 福元 操

同 二等運轉士 山川 如水

同 機關長 木原 武好

同 一等機關士 直井 晋作

同 二等機關士 矢野 二郎

同 事務局長兼通信局長 井口 剛

同 三等機關士 山本 楠彦

同 船醫 松森 勉富  
(以上昭和十二年七月三十日附)

那智山丸 事務局長兼通信局長 元山 榮造  
(昭和十三年四月七日附)

那智山丸 二等運轉士 今里 七郎  
(昭和十三年九月二十八日附)

那智山丸 三等運轉士 古橋 義壽  
(昭和十四年一月二十日附)

那智山丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(同)

那智山丸 事務局長兼通信局長 井口 剛  
(昭和十三年四月七日附)

那智山丸 三等機關士 山本 楠彦  
(昭和十三年四月十五日附)

那智山丸 船醫 松森 勉富  
(昭和十三年九月二十七日附)

那智山丸 二等運轉士 今里 七郎  
(昭和十三年十一月十日附)

那智山丸ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(同)

那智山丸 三等運轉士 齊藤 千代二  
(昭和十四年五月四日附)

那智山丸 二等機關士 伊東 三雄  
(昭和十四年九月十四日附)

那智山丸 一等機關士 天野 大作  
(昭和十五年二月十二日附)

0492

那智山丸 三等機關士 吉田 博  
(昭和十五年六月十九日附)

(各通) 那智山丸 三等運轉士 山根 浩亮  
(昭和十五年六月二十一日附)

那智山丸 二等運轉士 山川 如水  
(昭和十三年十一月十日附)

那智山丸 二等機關士 石橋 善雄  
(昭和十五年八月十日附)

那智山丸 二等機關士 多田 千鶴  
(昭和十五年九月二十九日附)

那智山丸 機關長 宮原 剛  
(昭和十五年十月八日附)

那智山丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(同)

那智山丸 三等運轉士 古橋 義壽  
(昭和十四年五月四日附)

那智山丸 二等機關士 矢野 二郎  
(昭和十四年九月十五日附)

那智山丸 一等機關士 直井 晋作  
(昭和十五年二月十三日附)

(各通) 那智山丸 三等運轉士 齊藤 千代二  
(昭和十五年六月二十三日附)

那智山丸 二等運轉士 山川 如水  
(昭和十三年九月二十八日附)

那智山丸 二等運轉士 山川 如水  
(昭和十五年八月十日附)

那智山丸 三等運轉士 山根 浩亮  
(昭和十五年九月二十八日附)

那智山丸 二等機關士 伊東 三雄  
(昭和十五年九月三十日附)

那智山丸 機關長 木原 武好  
(昭和十五年十月八日附)

那智山丸ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(同)

朝日丸 三等運轉士 野 中 強  
(昭和十四年六月十三日附)

朝日丸 一等機關士 江口 四郎  
(昭和十四年六月十七日附)

朝日丸 三等機關士 關根 佐夫  
(昭和十四年八月四日附)

朝日丸 機關長 高木 鍾平  
(昭和十四年八月五日附)

朝日丸 事務長 志賀 勝次  
(昭和十四年十月九日附)

朝日丸 二等機關士 渡邊 昌利  
(昭和十四年十月二十八日附)

0493

(各通)

朝日丸 一等運轉士 小田 壽夫  
(昭和十四年十一月二十七日附)

牟婁丸 一等運轉士 安 村 索  
(昭和十四年八月十三日附)

牟婁丸 事務長 本田 靜枝  
(昭和十四年十月二十七日附)

牟婁丸 船長 月山 欽一郎  
(昭和十四年十二月八日附)

牟婁丸 一等機關士 尾崎 康平  
(昭和十四年十二月十一日附)

牟婁丸 事務長 永井 秀雄  
(昭和十四年十二月三十一日附)

牟婁丸 二等運轉士 中野 新一  
(昭和十四年十二月三十一日附)

同 二等機關士 室山 洋一  
(以上昭和十五年二月十一日附)

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス(同)

牟婁丸 事務長 本田 靜枝  
(昭和十四年十二月三十一日附)

牟婁丸 二等運轉士 飯田 政一  
(昭和十四年十二月三十一日附)

同 二等機關士 金久 要藏  
(以上昭和十五年二月十一日附)

(各通)

牟婁丸 一等運轉士 前田 快一  
(昭和十四年八月十三日附)

牟婁丸 事務長 津野 正巳  
(昭和十四年十月二十七日附)

牟婁丸 船長 田 中 勝  
(昭和十四年十一月八日附)

牟婁丸 一等機關士 林 彌六  
(昭和十四年十二月十一日附)

牟婁丸 事務長 本田 靜枝  
(昭和十四年十二月三十一日附)

牟婁丸 機關長 桑原 千之助  
(昭和十五年八月一日附)

朝日丸 三等運轉士 村崎 良介  
(昭和十四年六月十三日附)

朝日丸 一等機關士 塩地 五郎一  
(昭和十四年六月十七日附)

朝日丸 二等機關士 渡邊 二郎  
(昭和十四年八月四日附)

朝日丸 機關長 一柳 復雄  
(昭和十四年八月五日附)

朝日丸 事務長 崎山 正夫  
(昭和十四年十月九日附)

朝日丸 三等機關士 鈴木 信一  
(昭和十四年十月十一日附)

0494

朝日丸 二等機關士 高村 貫一  
(昭和十四年十月三十日附)

朝日丸 一等運轉士 古川 清定  
(昭和十四年十一月二十七日附)

朝日丸 二等運轉士 三谷 克己  
(昭和十五年四月八日附)

朝日丸 二等機關士 小林 辰助  
(昭和十五年五月二十八日附)

朝日丸 事務長 志賀 勝次  
(昭和十五年五月三十一日附)

朝日丸 二等運轉士 塩味 常吉  
(昭和十五年七月十日附)

朝日丸 三等運轉士 野 中 彌  
(昭和十五年七月七日附)

朝日丸次席 二等機關士 清水 正三  
(昭和十五年七月九日附)

朝日丸 三等機關士 關根 佐夫  
(昭和十五年七月十八日附)

朝日丸 一等機關士 江口 四郎  
(昭和十五年九月十一日附)

支那方面艦隊ニ於ケル事務嘱託ヲ解ク(以上海軍省)

總務部第一課勤務ヲ命ス(昭和十五年九月十一日附)

海軍少佐 室井 拾治  
(昭和十五年九月十一日附)

教育部附ヲ命ス

海軍書記 飯塚 輔次郎

技術部第二課附ヲ命ス(以上昭和十五年七月十日附)

海軍技手 笠原 守善

○ 雜 款

○將旗移揚

第三根據地隊司令官ハ昭和十五年十二月三十一日將旗ヲ福山丸ヨリ陸上司令部ニ移揚セリ

海南島根據地隊司令官ハ一月六日將旗ヲ三亞ヨリ海口司令部ヘ移揚セリ

○將旗一時移揚

第二遣支艦隊司令官ハ一月四日將旗ヲ一時第十八號掃海艇ニ移揚セリ

○代將旗復歸

第六航空戰隊司令官ハ昭和十五年十二月二十九日代將旗ヲ能登呂ヨリ神川丸ニ復歸セリ

○郵便物發送先

第六眞盛丸宛  
一月十日迄ニ到達見込ノモノハ  
二月九日迄ニ同 横須賀郵便局留置

0495

其ノ後ハ

横須賀

第二聯合航空隊司令部宛

一月二十二日迄ニ到達見込ノモノハ

鹿屋海軍航空隊内

美幌海軍航空隊司令部

元山海軍航空隊司令部

其ノ後ハ

第一艦隊機密第二一號ノ三二中第六項ニ依リ照會モ有之年度中途ニ於テ聯合艦隊編入豫定ノ艦艇ニ書類配付サルルコトナリ第六潜水戦隊(未編制)ニ對スル書類發送ニ軍艦鬼怒司令部、軍艦鬼怒參謀等ト宛書サルルモ鬼怒ハ目下當隊ノ旗艦ニ有之爲第六潜水戦隊宛書類ト當隊宛書類混同シ整理ニ多大ノ不便ヲ辱リツツアルニ付自今左記ニ依リ區分發送相成度

吳防備戰隊宛

軍艦鬼怒司令部

軍艦鬼怒參謀

軍艦鬼怒司令官

第六潜水戦隊宛

軍艦鬼怒 上田機關少佐

○書類發送先

第十四航空隊警備隊宛

第五海軍軍用郵便所第一派出所氣付

第十四航空隊警備隊

○事務開始

小牧丸ハ昭和十五年十二月二十六日横濱市三菱造船所横濱船渠内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去

第十五航空隊殘務整理事務所ハ昭和十五年十二月二十三日撤去セリ

○正誤

本月六日辭令欄中松末元完辭令文「資金前渡官吏ヲ命ス」ハ「資金前渡官吏ヲ免ス」ノ誤(注)

○本日普通公報發行セズ

0496



○艦船所在

指定ヲ要セズ

○一月八日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍埼▲、春日▲、駒橋、  
神威▲、沖島▲、常磐▲、曙▲、潮▲、隴▲、雷▲、澤風

伊六▲

宗谷、知床、尻矢

翔鶴▲

(津輕)▲

(伊二三)▲

(伊一七)▲

【長浦】

磯風、浦風

伊一三三、伊一二四

驅潜二三

哨一、哨二

【横濱】

電▲

(香椎)▲

(筑紫)▲

(萩風)▲

(濱風)▲

神風、沼風、野風、波風

伊五二

哨三四、哨三五

大泊

淺間、妙高▲、扶桑▲、▽鬼怒、八雲、

勝利▲、三隈

薄雲▲、▽早苗、吳竹、若竹

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲、

伊七一▲、伊七二▲、伊一二一、伊一二二

【吳】

伊七二▲

伊一二一、伊一二二

【尼崎】

球磨▲

隱戸▲

大井▲

伊三▲

伊六〇

(瑞鶴)▲

(伊一〇)▲

(伊一九)▲

(伊二一)▲

(伊二二)▲

(伊二五)▲

(伊三一)▲

(石垣)

三日月

佐伯

驅潜五二、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

嵐

哨三六、哨三七

(野分)▲

羽黑▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳

菊月、沖風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六八、

伊五九▲、伊六五▲、伊六八

哨三八、哨三九

敷島▲

(八丈)▲

(伊一八)▲

(伊二四)▲

(伊二九)▲

(伊三九)▲

【佐世保】

掃一四、掃一三、掃一五、掃一六

驅潜五三▲

哨四六

攝津▲、樫野▲、室戸、間宮

(日進)▲

(伊九)▲

(伊二七)▲

(伊三五)▲

襟裳

球磨

隱戸

大井

伊三

伊六〇

(瑞鶴)

(伊一〇)

(伊一九)

0497

海軍公報(部内限) 第三千六百九十一號

昭和十六年一月八日

一九

【長崎】野島  
【鎮海】朝顔、芙蓉  
【作業地】口出雲、口安宅、比良、二見、熱海、鳥羽、勢多、

堅田、保津、伏見、岡田、橋立、足柄、嵯峨、  
占守、口名取、口磐手、口長門、陸奥、  
日向、伊勢、口比叡、霧島、口加古、古鷹、  
青葉、衣笠、口阿武隈、口川内、口龍驤、  
鳳翔、口千歲、口代田、口瑞穂、口高雄、愛宕、  
鳥海、摩耶、口那智、口鈴谷、最上、熊野、  
利根、筑摩、口神通、口那珂、口加賀、  
飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、口鹿島、  
龍田、天龍、口夕張、口迅鯨、口香取、  
大鯨、口長鯨、口五十鈴、口殿島、八重山、  
北上、口由良  
栗、梅、蓮、刈萱、峯風、口春風、旗風、  
松風、朝風、口文月、口阜月、水無月、長月、  
若葉、初春、初霜、口白日、口白露、時雨、  
有明、夕暮、口初雪、白雪、吹雪、口白雲、  
東雲、叢雲、口綾波、浦波、磯波、敷波、  
夕霧、狹霧、天霧、朝霧、口秋風、羽風、  
太刀風、夕風、口帆風、口沙風、口卯月、夕月、  
追風、疾風、夕風、朝風、口曉、響、口漣、  
早潮、夏潮、親潮、黑潮、口初風、雪風、  
天津風、時津風、口霞、霞、陽炎、不知火、  
夕立、村雨、春雨、五月雨、口朝雲、山雲、  
峯雲、夏雲、口海風、涼風、江風、山風、  
大潮、荒潮、滿潮、朝潮、口陰月、如月、  
望月、彌生、矢風

【航海中】

早鞆 (十二月十一日桑港發—佐世保—)  
石廊 (十二月十七日桑港發—吳—)

口呂三三、口呂三四、口呂六二、口呂六〇、  
口呂六一、口呂六三、口呂六四、口呂六五、  
口呂六六、口呂六七、口伊二、口伊一、口伊五、  
口伊四、口伊七、口伊八、口伊一五、口伊一六、  
口伊二〇、口伊五五、口伊五四、口伊五六、  
口伊五七、口伊五八、口伊六四、口伊六一、  
口伊六二、口伊六六、口伊六九、口伊七〇、  
口伊七三、口伊七四、口伊七五、  
口鴻、口隼、口鶴、口雁、口鳩、口鷲、口雄、  
口初雁、口真鶴、口友鶴、口千鳥、  
口掃一七、口掃一八、口掃六、口掃一、口掃二、  
口掃三、口掃四、口掃五、口掃七、口掃八、口掃九、  
口掃一〇、口掃一一、口掃一二、  
口驅潛二、口驅潛一、口驅潛三、口驅潛四、  
口驅潛五、口驅潛六、口驅潛七、口驅潛八、  
口驅潛九、口驅潛一〇、口驅潛一一、口驅潛一二、  
明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限)第三千六百九十二號

海軍大臣官房

昭和十六年一月九日(木)

## ○令 達

官房第一〇八號

昭和十五年官房第五四六號ニ依ル第十海軍軍用郵便所ハ二月十七日ヨリ事務ヲ開始ス

昭和十六年一月九日

海軍大臣

(昭和十五年十月二十八日本閣參照)

## ○通 牒

官房第一〇九號

昭和十六年一月九日

海軍省副官

關係各廳長殿

事變關係市外通話優先取扱ニ關スル件通牒

昭和十四年三月三十日附官房第一六四二號首題通牒中左記ノ通改メ候

記

相手應名

電話番號

相手應名

電話番號

阪神  
海軍部

北濱三三三番

海軍省

銀座三二二番

吳鎮守府

吳 二四六二番

舞鶴鎮守府

中舞鶴 五二番

神戸海軍監  
督官事務所

兵庫 二七番

玉海軍監  
督官事務所

佐世保海軍  
工廠 佐世保  
四二二番

追加

## ○辭 令

海軍中佐 堀之内美義

第二課兼第一課勤務ヲ命ス(海軍省教育局)

## ○雜 款

海軍公報(部内限)第三千六百九十二號

昭和十六年一月九日

二二

0499

○旗艦變更  
第七戰隊司令官ハ一月七日旗艦ヲ熊野ニ變更セリ

○司令驅逐艦一時變更  
第十六驅逐隊司令ハ昭和十五年十二月二十七日同二十九日司令驅逐艦ヲ一時初風ヨリ時津風ニ變更孰モ同日復歸セリ

第十一驅逐隊司令ハ一月五日司令驅逐艦ヲ一時初雪ヨリ吹雪ニ變更同日復歸セリ

○司令潜水艦復歸  
第二十九潜水隊司令ハ昭和十五年十二月二十九日司令潜水艦ヲ伊號第六十一潜水艦ヨリ伊號第六十二潜水艦ニ復歸セリ

○書類送達ニ關スル件  
當隊宛書類遲延ノ爲執務上支障不尠自今期限附書類等ハ可及的航空便ニ依リ發送相成度  
(舞鶴鎮守府第一特別陸戰隊)

○事務開始  
第六十二驅潛隊事務ヲ昨年十二月三十日桂丸ニ於テ開始セリ

○開設  
當部竝ニ出張所、供給所開設ノ處更ニ供給所、倉庫ヲ

開設シ左記ニ依リ事務開始セリ

區分	所在地	供給スル軍需品	所在職員
馬公本部		艦本系兵器 艦營需品 被服物品 糧食	
高雄出張所	高雄市十號岸壁	被服物品 糧食 糧食	海軍主計中佐
基隆供給所	基隆市港務所内	糧食 糧食	薄井正藏
岡山出張所	高雄州岡	航本系兵器	海軍機關少佐
東港倉庫	高雄州東港街	航空燃料	中川貞一

(馬公要港部軍需部)

○艦船所在  
△印ハ「ハカ」ノ  
 指定ヲ要セス

○一月九日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍崎▲、春日▲、駒橋、  
 神威▲、潮▲、朧▲、雷▲

伊六▲

宗谷、知床、尻矢

【長浦】

國後、多摩  
 磯風、浦風  
 伊一三三、伊一二四

【横濱】

電▲  
 (香椎)▲、(筑紫)▲  
 萩風▲、(濱風)▲

【浦賀】

神風、沼風、野風、波風

【大湊】

伊五二  
 哨三四、哨三五  
 大泊  
 淺間、妙高▲、扶桑▲、▽鬼怒、八雲、  
 勝利▲、三隈

【吳】

薄雲▲、伊吳竹、早苗、若竹  
 呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲、

【尼崎】

伊七一▲、伊七三▲、伊一二三、伊一二二  
 掃一四、掃一三、掃一五、掃一六  
 哨四五三▲

【神戸】

日進▲、(伊九)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲  
 櫻野▲、間宮  
 球磨▲、隱戸▲  
 (谷風)▲  
 大井▲  
 伊三▲、伊六〇▲  
 (瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲  
 (伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲  
 (石垣)

【玉島】

三日月▲  
 驅潛五一、驅潛五二  
 哨三一、哨三二、哨三三

【佐伯】

吾妻▲、長良▲、木曾

【舞鶴】

哨三六、哨三七  
 (野分)▲  
 羽黒▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳▲  
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六八▲  
 伊五九▲、伊六五▲、伊六八▲  
 哨三八▲、哨三九▲

【佐世保】

敷島▲  
 (八丈)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲、(伊二九)▲

0501

海軍公報(部内限)第三千六百九十二號

昭和十六年一月九日

二三

(伊三九) ▲

【寺島水道】 沖風  
 【長崎】 野島  
 【鎮海】 朝顔、芙蓉  
 【作業地】 出雲、安宅、比良、二見、熱海、鳥羽、勢多、  
 堅田、保津、伏見、隅田、橋立、足柄、嵯峨、  
 占守、名取、磐手、長門、陸奥、  
 日向、伊勢、比叡、霧島、加古、古鷹、  
 青葉、衣笠、阿武隈、川内、龍驤、  
 鳳翔、千歲、千代田、瑞穂、高雄、愛宕、  
 鳥海、摩耶、那智、鈴谷、最上、熊野、  
 利根、筑摩、神通、那珂、加賀、  
 飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、鹿島、  
 龍田、天龍、夕張、迅鯨、香取、  
 大鯨、長鯨、五十鈴、嚴島、八重山、  
 北上、由良  
 栗、梅、蓮、刈萱、峯風、春風、旗風、  
 松風、朝風、文月、皐月、水無月、長月、  
 若葉、初春、初霜、子日、白露、時雨、  
 有明、夕暮、初雪、白雪、吹雪、白雲、  
 東雲、叢雲、綾波、浦波、磯波、敷波、  
 夕霧、狹霧、天霧、朝霧、秋風、羽風、  
 太刀風、夕風、帆風、沙風、卯月、夕月、  
 菊月、追風、疾風、夕風、朝風、曉、響、  
 雪風、早潮、夏潮、親潮、黑潮、初風、  
 不知火、夕立、村雨、春雨、五月雨、  
 朝雲、山雲、峯雲、夏雲、海風、涼風、

【航海中】

早朝 (十二月十一日桑港發—佐世保)  
 石廊 (十二月十七日桑港發—吳)  
 攝津 (八日吳發—橫須賀)

江風、山風、大潮、荒潮、滿潮、朝潮、  
 陸月、如月、望月、彌生、矢風  
 呂三三、呂三四、呂六二、呂六〇、  
 呂六一、呂六三、呂六四、呂六五、  
 呂六六、呂六七、呂二、伊一、伊五、  
 伊四、伊七、伊八、伊一五、伊一六、  
 伊二〇、伊五五、伊五四、伊五六、  
 伊五七、伊五八、伊六二、伊六一、  
 伊六四、伊六六、伊六九、伊七〇、  
 伊七三、伊七四、伊七五  
 鴻、隼、鶴、鵠、雁、鳩、鷲、雉、  
 初雁、真鶴、友鶴、千鳥  
 掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、  
 掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、  
 掃一〇、掃一一、掃一二  
 驅潛二、驅潛一、驅潛三、驅潛四、  
 驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、  
 驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二  
 明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多、室戸

0502

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第三千六百九十三號

昭和十六年一月十日(金)

海軍大臣官房

## ○令 達

官房機密第一二〇號

陸海軍航空委員會規約別冊ノ通定ム

昭和十六年一月十日

海軍大臣  
陸軍大臣

内令提  
要登載

(別冊)

陸海軍航空委員會規約

一、陸海軍ノ航空戦力ヲ強化シ國防國家體制ノ確立ニ寄與スル目的ヲ以テ諸般ノ案件ヲ協議決定スル爲陸海軍航空委員會ヲ置ク

二、本會ハ左記事項ノ實施要領ニ關スル委員會案ヲ策定シ主管大臣ニ答申シテ其ノ決裁ヲ仰ク

記

(一) 技術ノ調査、實驗、審査等ニ關スル統制、互助兵器及材料ノ制式規格ノ統一、協調

(三) 航空科學ノ國家的飛躍ニ關スル協力  
(四) 航空工業(同基礎工業ヲ含ム)、航空燃料工業等ニ關スル協調

(五) 教育、訓練ニ關スル協調

(六) 航空ニ關スル内外調査資料、戰訓等ノ交換及合同研究

(七) 幹部、勞務員等ノ育成、補充ニ關スル統一、協調

(八) 外國ノ航空工業、技術導入等ニ關スル協力

(九) 民間航空ノ指導及利用ニ關スル協調

(十) 航空ニ關スル保安施設、氣象、衛生、衣糧等ニ關スル協調

三、本會ハ陸軍省軍務局長及海軍省軍務局長ヲ委員長トシ陸海軍大臣之ヲ主管ス

委員長ノ下ニ委員及幹事ヲ置ク其ノ組織別表ノ如シ

四、委員長ハ會務ヲ總理ス

五、委員ハ議案ヲ審議ス

六、幹事長ハ委員長ノ命ヲ承ケ委員會ニ關スル庶務事

海軍公報(部内限) 第三千六百九十三號

昭和十六年一月十日

二五

0503

**廢止**

海軍公報(部内限)第三千六百九十三號

昭和十六年一月十日

二六

項ヲ統理シ且必要ニ應シ交互ニ委員會ヲ主宰ス  
七、幹事ハ幹事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

附則

一、陸海軍航空本部協調委員會ハ之ヲ存續シ本會ノ審議ト關聯シ其ノ内容ヲ改變ス  
(別表一葉添)

官房第一四五號 昭和十七年増修第五九號  
並テ本館取止

當分ノ間海軍工作廳外ニ於テ保管出納スル臨時軍事費支辨直買材料ノ通常物品出納命令官及同會計官吏並ニ之ガ取扱區分ヲ左ノ通定ム

昭和十六年一月十日

海軍大臣

出納命令官	會計官吏	取扱區分
艦政本部會計部長 (航空關係ヲ除ク)	造船造兵監督會 計官	受持區域内ニ於テ保管出納スル 造船造兵用材料 (航空關係)
航空本部總務部第 二課長		

備考  
會計官吏ハ出納命令官之ヲ命免シ其ノ旨報告スルモ  
ノトス

○ 通牒

第一根據地隊機密第四七號

昭和十五年十二月二十七日

第一根據地隊司令部

關係各部御中

第一砲艦隊各艦略稱制定ノ件通知

第一砲艦隊各艦ノ略稱ヲ左ノ通定ム

特設砲艦名	略稱
咸興丸	第十一號砲艦
新京丸	第十二號砲艦
盛京丸	第十三號砲艦
長沙丸	第十四號砲艦
武昌丸	第十五號砲艦

軍務一機密第一七號

昭和十六年一月九日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

0504







○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ  
指定ヲ要セズ

○一月十日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍埼▲、春日▲、駒橋、  
神威、沖島、常磐  
曙▲、潮▲、隼▲、雷▲

伊六▲

宗谷、知床、尻矢、攝津

【翔鶴】▲、【津輕】▲、【伊二三】▲、【伊一七】▲

伊三三▲

【長浦】

國後、多摩

磯風、浦風

伊一三三、伊一二四

驅潜二三

哨一、哨二

【横濱】

電▲、【香椎】▲、【筑紫】▲

【浦賀】▲、【萩風】▲、【濱風】▲

【大湊】

神風、沼風、野風、波風

伊五二

哨三四、哨三五

【吳】

淺間、妙高▲、扶桑▲、八雲、

勝力▲、三隈

薄雲▲、伊吳竹、早苗、若竹

伊五七▲、伊五八▲、伊五九▲、伊五三▲、

【大阪】

球磨

隱戸

伊三▲

伊六〇▲

瑞鶴▲、伊一〇▲、伊一九▲、伊二一▲

伊二二▲、伊二五▲、伊三一▲

石垣▲

三日月

因ノ島

鬼怒

伊一二三、伊一二一

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

嵐

哨三六、哨三七

野分▲

羽黑▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳▲

沖風

呂三〇▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六八▲

伊三九▲、伊五九▲、伊六五▲、伊六八▲

哨三八▲、哨三九▲

伊五八▲、伊六一▲、伊七一▲、伊七二▲  
掃一四、掃一三、掃一五、掃一六

驅潜五三▲  
哨四六

櫻野▲、問宮

日進▲、伊九▲、伊二七▲、伊三五▲

大井

谷風▲

神戶

玉

伊豫灘

佐伯

舞鶴

佐世保

0507

【長崎】野島  
 【鎮海】朝顔、芙蓉  
 【作業地】出雲、安宅、比良、二見、熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、伏見、隅田、橋立、足柄、嵯峨、占守、名取、磐手、長門、陸奥、日向、伊勢、比叡、霧島、加古、古鷹、青葉、衣笠、阿武隈、川内、龍驤、鳳翔、千歲、千代田、瑞穂、高雄、愛宕、鳥海、摩耶、那智、熊野、鈴谷、最上、利根、筑摩、神通、那珂、加賀、飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、鹿島、龍田、天龍、夕張、迅鯨、香取、大鯨、長鯨、五十鈴、嚴島、八重山、北上、由良

栗、梅、蓮、刈萱、峯風、春風、旗風、松風、朝風、文月、皐月、水無月、長月、若葉、初春、初霜、子日、白露、時雨、有明、夕暮、初雪、白雪、吹雪、白雲、東雲、叢雲、綾波、浦波、磯波、敷波、夕霧、狹霧、天霧、朝霧、秋風、初風、太刀風、夕風、帆風、沙風、卯月、夕月、菊月、追風、疾風、夕風、朝風、曉、響、漣、早潮、夏潮、親潮、黑潮、初風、雪風、天津風、時津風、霞、霰、陽炎、不知火、夕立、村雨、春雨、五月雨、朝雲、山雲、峯雲、夏雲、海風、涼風、

【航海中】  
 早鞆 (十二月十一日桑港發—佐世保)  
 石廊 (十二月十七日桑港發—吳)  
 襟裳 (九日尼崎發—下松)

江風、山風、大潮、荒潮、滿潮、朝潮、陸月、如月、望月、彌生、矢風  
 呂三三、呂三四、呂六二、呂六〇、呂六一、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六一、呂一五、伊四、伊七、伊八、伊一五、伊一六、伊二〇、伊五五、伊五四、伊五六、伊五七、伊六二、伊六四、伊六六、伊六九、伊七〇、伊七三、伊七四、伊七五  
 鴻、隼、鶉、鶴、雁、鳩、鸞、雉、初雁、真鶴、友鶴、千鳥  
 掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二  
 驅潛二、驅潛一、驅潛三、驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二  
 明石、鳴戶、鶴見、朝日、佐多、室戶

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千六百九十四號

昭和十六年一月十一日(土)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一六一號

海軍軍用郵便所過剩金ヲ海軍經費ニ振替手續申左ノ通  
改正ス

昭和十六年一月十一日

海 軍 大 臣

一(一)及二(一)中「第二艦隊」ヲ「第四艦隊」ニ改ム  
三ヲ左ノ如ク改ム

海軍軍用通信吏ハ前條ノ振替送金領收證ヲ受ケタル  
トキハ左記手續ヲ爲スベシ

(一) 第四艦隊所屬海軍軍用郵便所通信吏ニ在リテハ  
該領收證ヲ遞信省貯金局ニ送付スベシ

(二) 第一、第二、第三遣支艦隊及支那方面艦隊所屬  
海軍軍用郵便所通信吏ニ在リテハ該領收證ヲ下關  
貯金支局ヲ經由シ遞信省貯金局ニ送付スベシ  
遞信省貯金局ハ前項ノ領收證ヲ以テ相當金額ノ支拂

方ヲ海軍省經理局ニ請求スルモノトス

官房機密第一九九號

昭和十六年一月十一日

海 軍 大 臣

各 鎮 守 府 司 令 長 官  
大 湊、馬 公、鎮 海 要 港 部 司 令 官 殿

兵器簿ノ件通達

各艦船部隊學校兵器簿申左記ノ通改正ス

但シ十米、十四米特型運貨船及二十五噸内火艇(砲  
艇型)用ヲ除ク

主管別	指定	類 別	品 名	稱 數	記 事
機 關 長	削 除	機 動 艇 點 燈 裝 置 之 部	汽 燈 機 動 艇 用 接 檢 共	個	全 部 抜 取
同	削 除	電 球 之 部	三 燭 電 球 三 〇 號 四 〇 號	個	潛 水 艦 ヲ 除 ク
航 海 長	削 除	信 號 兵 器 之 部 (電 氣)	汽 燈 機 動 艇 用 接 檢 共	個	木 紙 抜 取

海軍公報(部内限) 第三千六百九十四號 昭和十六年一月十一日

三一

0509



官房機密第二〇〇號 昭和十六年一月十一日

營分ノ間兵器等ノ造修又ハ建築工務ニ關スル用務ヲ以テ本號終止  
南洋群島ニ出張滞在スル者又ハ同地ニ於テ使役スル者ノ給與ニ關シ左ノ通定ム

一、糧 食

軍人、軍屬、囑託員、工員及人夫ニハ指定滞在地著ノ日ヨリ其ノ地發程ノ日迄適宜ノ糧食品ヲ官給スルコトヲ得

前項ノ糧食品ノ供給及整理ニ關シテハ軍需局長及經理局長ヲシテ之ヲ通牒セシム

二、旅 費

軍人、軍屬、囑託員及工員ニ支給スル旅費ハ指定滞在地著ノ日ヨリ起算シ十一月ヨリ其ノ地發程ノ前日迄滞在中別表ニ依ル日額ヲ支給シ日當及宿泊料ヲ支給セズ

同一地ニ滞在中一時他ノ地ニ旅行シタル場合ニ於テハ前項ノ期間ハ前後ノ日數ヲ通算ス但シ引續キ滞在地ニ在ラザルコト三十日ヲ超ユルトキハ此ノ限ニ在ラス

本令施行ノ際現ニ滞在中ノ者ニ在リテハ前二項ノ期間ノ計算ハ本令施行前ノ滞在日數ヲ通算ス

本令ハ昭和十六年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス但シ第一號ノ規定ハ昭和十五年十二月一日ヨリ之ヲ適用スルコトヲ得

昭和十六年一月十一日

海 軍 大 臣

(別表添)

○ 通 牒

軍需機密糧第五號

昭和十六年一月十一日

海軍省軍需局長  
海軍省經理局長

關係各廳長殿

兵器等ノ造修又ハ建築工務ニ關スル用務ニテ南洋群島ニ出張滞在スル者等ニ給スル糧食品供給及整理ニ關スル件通牒

官房機密第二〇〇號ニ依ル首題ノ件ハ左記ニ依リ處理相成度

記

一、供給元

横須賀海軍軍需部

0510

- 二、供給手續及整理
- (イ) 入手困難ナル場合ニ限リ工事施行擔當ノ海軍工廠又ハ海軍建築部等ヨリノ請求ニ依リ供給スルモノトス
  - (ロ) 供給元ハ供給ノ都度糧食品領収票ヲ徴スルモノトス
  - (ハ) 供給元ハ毎月頭其ノ前月分ヲ取纏メ供給集計表(別紙様式)ヲ作製シ海軍省軍需局、供給先廳及其ノ主務部局(海軍艦政本部、海軍航空本部又ハ海軍省建築局)ニ各一通ヲ送付スルモノトス
  - (ニ) 海軍艦政本部、海軍航空本部又ハ海軍省建築局ハ供給集計表ニ依リ供給金額ニ相當スル豫算(臨時軍事費トス)ヲ海軍省軍需局ニ移用スルモノトス
  - (ホ) 供給元ハ消耗拂トシテ整理シ受給廳ハ適宜帳簿ヲ設ケ其ノ受拂ヲ明カニ爲シ置クモノトス
  - (ヘ) 供給單價ハ時價ヲ參酌シ供給元ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

臺灣總督府技師 中村 綱  
 第二遣支艦隊事務囑託ヲ解ク(於<sup>一九三七年</sup>海軍省) 前川 清  
 南支海軍特務部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(於<sup>一九三七年</sup>同) 田邊 均  
 支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(於<sup>一九三七年</sup>同) 海軍少將 松木 益吉  
 同 海軍少將 中原 義正  
 同 海軍軍醫少將 田川 資造  
 海軍大佐 長谷 眞三郎  
 同 海軍中佐 富永 昌三  
 海軍少佐 野田 六郎  
 海軍少佐 河本 廣中  
 海軍機關大佐 秋重 實惠  
 海軍機關中佐 奥本 善行  
 海軍機關少佐 赤尾 勝  
 海軍軍醫大佐 中村 通孝  
 同 大久保 信  
 同 川島 秀志  
 同 島崎 貞  
 同 廣田 稜夫

○ 辭 令

海軍公報(部内限)第三千六百九十四號 昭和十六年一月十一日

0511

海軍武官任用委員ヲ命ス  
 同 海軍軍醫中佐 木庭 保喜  
 有馬 玄

(各通)

海軍少將 阿部 嘉輔  
 同 岡 敬純  
 同 前田 稔  
 同 津田 勝次  
 海軍大佐 長谷 眞三郎  
 同 高田 利種  
 海軍中佐 志岐 常雄  
 同 野田 六郎  
 海軍少佐 河本 廣中  
 海軍機關中佐 奥本 善行  
 海軍機關少佐 赤尾 勝  
 海軍軍醫大佐 大久保 信  
 海軍軍醫中佐 有馬 玄  
 同 岡崎 忠道  
 海軍少將 岡 敬純  
 同 寺岡 謹平  
 同 友成 佐市郎  
 同 原田 清一

(各通)

同 海軍大佐 中原 義正  
 同 梅崎 卯之助  
 同 來島 茂雄  
 同 寺垣 敬三  
 同 長谷 眞三郎  
 同 石川 信  
 海軍中佐 野田 六郎  
 海軍少佐 宮本 實夫  
 海軍機關中佐 末吉 盛太郎  
 海軍機關少佐 赤尾 勝  
 海軍軍醫大佐 大久保 信  
 同 松野 金治  
 海軍軍醫中佐 寺門 正文  
 同 佐々木 佳一  
 海軍軍醫少佐 松村 吉之  
 海軍主計中佐 新井 實  
 海軍主計少佐 鈴木 恒雄  
 海軍少佐 吉富 寛三  
 海軍主計中佐 出本 鹿之助  
 海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス  
 海軍生徒採用試験常置委員ヲ免ス

0512



(各通)

海軍軍醫大佐 大久保 信  
 同 廣田 乘夫  
 同 川田 理  
 同 木庭 保喜  
 海軍軍醫中佐 福本 正榮  
 同 有馬 玄  
 同 野方 次郎  
 同 足羽 正伸  
 同 小川 義男  
 海軍軍醫少佐 近藤 美之  
 海軍軍醫學生藥劑學生主計學生及海軍造船學生造機  
 學生造兵學生同候補者並生徒志願者身體検査委員ヲ  
 命ス

(各通)

海軍軍醫大佐 廣田 乘夫  
 同 新井 甫  
 海軍軍醫中佐 寺門 正文  
 同 清水 繁良  
 海軍軍醫少佐 松村 吉之  
 海軍豫備員志願者身體検査委員ヲ命ス  
 海軍軍醫大佐 新井 甫  
 海軍軍醫中佐 武井 英

(各通)

同 福本 正榮  
 同 小出 茂三  
 同 木村 芳雄  
 同 山岸 俊雄  
 同 目下志 純一  
 同 藤井 茂雄  
 同 村上 哲  
 同 久島 猛男  
 同 小川 義男  
 海軍軍醫少佐 陣内 日出二  
 同 加藤 正明  
 同 飯泉 眞厚  
 海軍軍醫大尉 谷地田 勝治  
 同 嶋田 眞  
 同 一條 貞助  
 海軍豫備生徒志願者體格検査委員ヲ命ス  
 海軍軍醫少將 田川 資造  
 海軍大佐 長谷 眞三郎  
 同 富永 昌三  
 海軍中佐 野田 六郎  
 海軍少佐 鷹尾 卓海

(各通)

0513

恩賜研學資金受賞者餘衡委員ヲ命ス

海軍機關中佐	市村忠逸郎
海軍機關少佐	赤尾勝
海軍軍醫大佐	大久保信
海軍主計大佐	島津惣次
海軍大佐	竹中龍造
同	上野敬三
同	市丸利之助
同	青木泰二郎
同	富永昌三
海軍中佐	大橋富士郎
同	鬼塚武二
同	森田千里
海軍少佐	半井安太郎
同	吉廣仁三郎
海軍機關中佐	本吉榮一
海軍機關少佐	齋藤明
海軍軍醫大佐	新井甫
海軍軍醫中佐	下山政人
同	野村守
同	柿坂狷介

(各通)

海軍航空豫備學生採用試験委員ヲ命ス

同	野瀬房雄
同	藤井茂雄
海軍軍醫大尉	鎌田常郎
海軍軍醫大佐	川田理
海軍軍醫中佐	岡崎忠道
海軍中佐	能登清久
海軍少佐	佐藤豊三郎
海軍機關中佐	熱田佐太郎
同	跡部保
海軍機關少佐	今井平八郎
海軍主計大佐	島津惣次
海軍主計中佐	前川宗太郎
海軍主計少佐	中村春男
海軍造兵大佐	古川勇
海軍造兵少佐	中村萬次郎
海軍技師	江角金市
同	大野茂

(各通)

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス

0514

<p>(各通)</p> <p>海軍大佐 堀内 多雄</p> <p>海軍主計中佐 青木 大吉</p> <p>購買名簿調査委員会委員ヲ命ス</p> <p>海軍大佐 高田 利種</p> <p>海軍大佐 中村 勝平</p> <p>海軍中佐 大野 小郎</p> <p>海軍少將 岡 敬純</p> <p>同 前田 稔</p> <p>同 中原 義正</p> <p>同 細谷 信三郎</p> <p>海軍大佐 石川 信吾</p> <p>同 長谷 眞三郎</p> <p>同 高田 利種</p> <p>海軍中佐 野田 六郎</p> <p>海軍主計大佐 島津 惣次</p> <p>思想調査委員会委員ヲ命ス</p> <p>海軍主計中佐 出本 鹿之助</p> <p>表彰審査委員会委員ヲ免ス</p> <p>海軍主計少佐 鈴木 恒雄</p> <p>表彰審査委員会委員ヲ命ス</p>	<p>(各通)</p> <p>海軍主計中佐 青木 大吉</p> <p>海軍服用語調査委員会委員ヲ命ス</p> <p>海軍少將 岡 敬純</p> <p>海軍大佐 長谷 眞三郎</p> <p>同 高田 利種</p> <p>海軍中佐 國府田 清</p> <p>海軍軍醫大佐 大久保 信</p> <p>海軍主計大佐 早川 貞吉</p> <p>同 島津 惣次</p> <p>海軍服用制研究調査委員会委員ヲ命ス</p> <p>海軍少將 岡 敬純</p> <p>同 保科 善四郎</p> <p>同 細谷 信三郎</p> <p>海軍大佐 石川 信吾</p> <p>同 橋本 象造</p> <p>同 淡 慶 讓</p> <p>同 富岡 定俊</p> <p>同 高田 利種</p> <p>同 栗原 悦藏</p> <p>海軍中佐 藤井 茂</p>
---	--

海軍公報(部内限) 第三千六百九十四號 昭和十六年一月十一日

0515

同	古川 文次	海軍機關大佐	浦野 角造
同	能登 清久	海軍大佐	高田 利種
海軍機關大佐	秋重 實惠	海軍軍醫大佐	大久保 信
海軍機關中佐	市村 忠逸郎	海軍軍醫少佐	近藤 美之
海軍主計大佐	島津 惣次	海軍主計大佐	早川 貞吉
燃料政策調査會委員ヲ命ス		同	島津 惣次
海軍少將	岡 敬純	海軍主計中佐	松田 盛男
同	保科 善四郎	兵食研究調査會委員ヲ命ス	海軍大佐
同	細谷 信三郎	御府獻納品銓衡委員會委員ヲ命ス	中村 勝平
海軍大佐	久重 一郎	同	大野 小郎
同	橋本 象造	同	鬼塚 武二
同	高木 惣吉	同	田代 格
(幹事)	長谷 眞三郎	同	海軍少佐
同	富岡 定俊	(各通)	海軍少佐
同	男爵 鹿目 善輔	海軍機關少佐	森下 陸一
(幹事)	同	海軍軍醫中佐	有馬 玄
同	高田 利種	海軍主計中佐	前川 宗太郎
同	栗原 悦藏	御府獻納品銓衡委員會委員ヲ命ス	
海軍中佐	藤井 茂	海軍少將	岡 敬純
同	佐藤 述	同	保科 善四郎
(幹事)	古川 文次		
同	國府田 清		

0516

(各通)

海軍大佐	同	細谷信三郎
海軍大佐	同	橋本象造
(幹事) 同	同	高木惣吉
(幹事) 同	同	湊慶讓
(幹事) 同	同	高田利種
海軍中佐	同	神重徳
(幹事) 同	同	古川文次
(幹事) 同	同	寺井邦三
(幹事) 同	同	應尾卓海
(幹事) 同	同	岩城繁
海軍機關大佐	同	浦野角造
海軍機關少佐	同	阿部勝
海軍軍醫大佐	同	大久保信
海軍軍醫中佐	同	有馬玄
海軍中佐	同	志岐常雄
同	同	堀之内美義
同	同	渡邊薫雄
海軍少佐	同	應尾卓海
海軍機關中佐	同	熱田佐太郎
海軍機關少佐	同	森下陸一

(各通)

同	赤尾勝
海軍軍醫少佐	近藤美之
潜水艦調査委員ヲ命ス	
海軍軍醫中佐	岡崎忠道
潜水艦調査委員ヲ免ス	
海軍技術會議員ヲ命ス	
海軍中佐	鳴遊波夫
海軍艦政本部技術會議員ヲ命ス	
海軍航空本部技術會議員ヲ命ス	
海軍中將	花島孝一
海軍航空本部ニ於ケル業務ヲ囑託ス	
佐藤信一	
海軍省事務囑託ヲ解ク	
夏目正夫	
支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス	
但シ報酬年額貳千四百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス	
支那方面艦隊事務囑託	
辻野丈治	
自今報酬年額貳千六百圓ヲ給ス	
臺灣總督府交通局副參事	
口石守次	
馬公要港部事務ヲ囑託ス(以上十名同)	

0517

第三課兼第二課勤務ヲ命ス(海軍省兵備局)  
海軍中佐 佐藤 述  
海軍主計大佐 中村 貞助  
兼テ在神戸監督長ノ承命服務ヲ解ク(海軍航空本部)

○ 雜 款

○將旗移揚  
第二聯合航空隊司令官ハ一月八日將旗ヲ鹿屋海軍航空隊ニ移揚セリ

○郵便物發送先  
第六通信隊宛  
神奈川縣橫須賀市田浦町  
海軍水雷學校氣付 牛尾 大佐

第六防備隊宛  
神奈川縣橫須賀市田浦町  
海軍水雷學校氣付 小原 大佐  
弘玉丸宛  
當分ノ間  
橫須賀郵便局氣付

○事務所設置

鎮海海軍航空廠、同元山分廠(假稱)設立準備事務所ヲ昨年十二月一日鎮海要港部内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務開始  
弘玉丸ハ昨年十二月二十七日浦賀船渠内ニ於テ事務ヲ開始セリ

乾隆丸ハ一月六日舞鶴海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ  
追テ郵便物ハ東舞鶴郵便局氣付トシテ發送相成度

○支那事變記念寫真帳ニ關スル件照會  
當隊昭和十二、三年度第一次第二次出征中、首題ノ件ニ關シ注文者宛發送ノ關係上必要有之候條當時注文者ヲシテ發送希望先至急通知方(官製ハガキヲ以テ)可然取計相成度  
(鹿屋海軍航空隊)

○解散  
在南京海軍隨員公館ハ昨年十二月二十六日限解散シ爾今大使館附武官、在勤武官、軍事委員會顧問關係事務ハ一切南京海軍武官府ニ於テ處理ス  
(南京在勤海軍武官)

0518

(別表)

(昭和十六年一月十二日海軍公報(部内限))

額	旅費等級	
	日 マール群島	三等
其	一〇〇〇	四等
ノ	七〇〇	五等
他	四五〇	六等
	四〇〇	七等
	三三〇	八等
	三〇〇	九等
	二八〇	十等

一、各科大佐(奏任文官三等)ニハ「マール群島十一圓其ノ他九圓ヲ、各科大尉(奏任文官六等)ニハ「マール群島八圓其ノ他五圓五十錢ヲ支給ス

二、本表ノ日額ハ日數ニ應ジ之ヲ支給ス

三、在勤加俸ノ支給ヲ受クル者ニ支給スル旅費ハ本表ノ半額トス

四、官ノ施設ニ起臥セシメザル者ニハ本表日額ノ二割ヲ増給ス

0519

(別表)

昭和 年 月 日

(昭和十六年一月十一日海軍公報(部内限))

横須賀海軍軍需部

海軍省軍需局宛  
供給先務部

糧食品供給集計表(月分)

供給先應名	領收票番號	品名	代價	記事

備考 品名欄ハ何々外何廉ノ如ク記載スルモノトス

0520



○ 艦船所在

▲印ハ「ハカ」ノ指定ヲ要セズ

○一月十一日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍埼▲、春日▲、駒橋、

神威▲、沖島▲、常磐

曙▲、潮▲、龍▲、雷▲

伊六▲

宗谷、知床、尻矢

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊一七)▲

(伊三三)▲

磯風、浦風

伊一二三、伊一二四

驅潜二三

哨一、哨二

電▲

(香椎)▲、(筑紫)▲

(萩風)▲、(濱風)▲

神風、沼風、野風、波風

伊五二

哨三四、哨三五

大泊

淺間、妙高▲、扶桑▲、八雲、

勝力▲、三隈

薄雲▲、伊呂波、早苗、若竹

伊呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲、

【大阪】

伊五八▲、伊六一▲、伊七一▲、伊七二▲

掃一三

驅潜五三▲

哨四六

櫻野

(日進)▲、(伊九)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲

球磨

隱戸

(谷風)

大井

伊三

伊六〇

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月

鬼怒

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

哨三六、哨三七

(野分)

羽黑▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳▲

衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三八▲

伊三九▲、伊五九▲、伊六五▲、伊六八▲

【佐世保】

伊五八▲、伊六一▲、伊七一▲、伊七二▲

掃一三

驅潜五三▲

哨四六

櫻野

(日進)▲、(伊九)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲

球磨

隱戸

(谷風)

大井

伊三

伊六〇

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

【神戶】

伊三

伊六〇

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月

鬼怒

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

【因ノ島】

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

哨三六、哨三七

(野分)

羽黑▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳▲

衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三八▲

【舞鶴】

伊三

伊六〇

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月

鬼怒

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

【佐伯】

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

哨三六、哨三七

(野分)

羽黑▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳▲

衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三八▲

【佐世保】

伊三

伊六〇

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月

鬼怒

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

【佐伯】

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

哨三六、哨三七

(野分)

羽黑▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳▲

衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三八▲

【舞鶴】

伊三

伊六〇

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月

鬼怒

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

【佐伯】

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

哨三六、哨三七

(野分)

羽黑▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳▲

衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三八▲

【佐世保】

伊三

伊六〇

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月

鬼怒

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

【佐伯】

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

哨三六、哨三七

(野分)

羽黑▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳▲

衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三八▲

【舞鶴】

伊三

伊六〇

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月

鬼怒

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

【佐伯】

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

哨三六、哨三七

(野分)

羽黑▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳▲

衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三八▲

【佐世保】

伊三

伊六〇

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月

鬼怒

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

【佐伯】

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

哨三六、哨三七

(野分)

羽黑▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳▲

衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三八▲

【舞鶴】

伊三

伊六〇

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月

鬼怒

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

【佐伯】

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

哨三六、哨三七

(野分)

羽黑▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳▲

衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三八▲

【佐世保】

伊三

伊六〇

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月

鬼怒

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

【佐伯】

伊一二三、伊一二一

掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、長良▲、木曾

哨三六、哨三七

(野分)

羽黑▲、金剛▲、榛名▲、能登呂▲、瑞鳳▲

衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三八▲

【舞鶴】

伊三

伊六〇

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月

鬼怒

哨三八 ▲ 哨三九 ▲

敷島 ▲ (八丈) ▲ (伊一八) ▲ (伊二四) ▲ (伊二九) ▲

長 野島 ▲ 朝顔、芙蓉

鎮 海 ▲

出雲、安宅、比良、二見、熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、伏見、隅田、橋立、口足柄、磯城、占守、口名取、口磐手、口長門、陸奥、日向、伊勢、比叡、霧島、加古、古鷹、青葉、阿武隈、川内、龍驤、鳳翔、千歲、千代田、瑞穂、高雄、愛宕、鳥海、摩耶、那智、熊野、鈴谷、最上、利根、筑摩、神通、那珂、加賀、飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、鹿島、龍田、天龍、夕張、迅鯨、香取、大鯨、長鯨、五十鈴、嚴島、八重山、北上、由良

栗、榎、蓮、刈萱、峯風、春風、旗風、松風、朝風、文月、皐月、水無月、長月、若葉、初春、初霜、子日、白露、時雨、有明、夕暮、初雪、白雪、吹雪、白雲、東雲、叢雲、綾波、浦波、磯波、敷波、夕霧、狹霧、天霧、朝霧、秋風、羽風、太刀風、夕風、帆風、沙風、卯月、夕月、菊月、追風、疾風、夕風、朝風、曉、響、雪風、早潮、夏潮、親潮、黑潮、初風、天津風、時津風、霞、霰、陽炎、不知火、夕立、村雨、春雨、五月雨

航海中  
早報 (十二月十一日 桑港發—佐世保—)  
石廊 (十二月十七日 桑港發—吳—)  
襟裳 (九日 尼崎發—下松—)  
沖風 (十日 佐世保發—古江—)

朝雲、山雲、峯雲、夏雲、海風、涼風、江風、山風、大潮、荒潮、滿潮、朝潮、睦月、如月、望月、彌生、矢風  
呂三三、呂三四、呂六二、呂六〇、呂六一、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂八一、呂一六、伊四、伊七、伊八、伊一五、伊一六、伊二〇、伊二五、伊五五、伊五六、伊五七、伊六二、伊六四、伊六六、伊六九、伊七〇、伊七三、伊七四、伊七五  
鴻、隼、鴨、雁、鳩、鷺、雉、初雁、真鶴、友鶴、千鳥  
掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二  
驅潛二、驅潛一、驅潛三、驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二  
明石、鳴戶、鶴見、朝日、佐多、室戸、攝津、間宮

0522

# 海軍公報 (部内限) 第三千六百九十五號

昭和十六年一月十三日(月)  
海軍大臣官房

## ○令達

官房機密第一六六號 昭和十六年一月十三日  
海軍遣獨軍事視察團規程左ノ通定ス

昭和十六年一月十日

海軍大臣

## 海軍遣獨軍事視察團規程

- 第一條 海軍遣獨軍事視察團ハ別表ニ依リ之ヲ編成ス
- 第二條 海軍遣獨軍事視察團ノ、任務行動等ニ關シテハ別ニ之ヲ訓令ス
- 第三條 海軍遣獨軍事視察團長ハ團務ヲ統理ス
- 第四條 海軍遣獨軍事視察團員ハ團長ノ命ヲ承ケ獨國軍事視察ニ從事ス
- 第五條 海軍遣獨軍事視察團附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス
- 第六條 海軍遣獨軍事視察團ハ常ニ陸軍軍事視察團ト氣脈ヲ通ズベシ

(別表添)

## ○辭令

海軍中佐 岡田 有作(艦本)  
伊號第十八潜水艦審議委員ヲ命ス(以上海軍艦政本部)

第二課勤務ヲ命ス

海軍技師 黒川 健一

第一課勤務ヲ命ス

海軍技手 伊藤 次郎

第二課勤務ヲ命ス

海軍技手 小野澤 喜興

第三課勤務ヲ命ス

海軍技手 志村 輝昭

第五課勤務ヲ命ス(以上昭和十六年一月十三日水路部)

海軍技手 村崎 洋

## ○雜款

○將旗一時移揚  
吳防備隊司令官ハ一月九日將旗ヲ一時第四十六號哨戒

(限 内 部)

海軍公報(部内限) 第三千六百九十五號

昭和十六年一月十三日

四三

0523

艇ニ移揚セリ

○將旗復歸

第五潜水戰隊司令官ハ昭和十五年十二月二十二日將旗ヲ伊號第六十六潜水艦ニ移揚、同二十三日由良ニ復歸セリ

第二遣支艦隊司令長官ハ一月九日將旗ヲ足柄ニ復歸セリ

○司令驅逐艦一時變更

第十一驅逐隊司令ハ一月五日司令驅逐艦ヲ一時初雪ヨリ吹雪ニ變更同日復歸セリ

○司令潜水艦變更

第八潜水隊司令ハ一月七日司令潜水艦ヲ伊號第五潜水艦ヨリ伊號第四潜水艦ニ變更セリ

○司令潜水艦復歸

第二十一驅逐隊司令ハ昭和十五年十二月二十五日司令潜水艦ヲ呂號第三十四潜水艦ニ復歸セリ

○郵便物發送先

佐世保鎮守府第一特別陸戰隊宛

自今

佐世保郵便局氣付

海軍志賀部隊

○左記ニ依リ陸上無線電信所ヲ設置ス、同期間電報ニ

ハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

記

至一月十八日	自一月十八日	至一月十八日	自一月十八日
至一月二十九日	自一月二十九日	至一月二十九日	自一月二十九日
至二月十二日	自二月十二日	至二月十二日	自二月十二日

別府

高知縣須崎

德島縣小松島

鹿兒島縣志布志

(第二艦隊)

0525

(別表) (昭和十六年一月十三日海軍公報(部内限))

團長	團員	附屬	備考
海軍中將 野村直邦	海軍少將 三戸直彦 同 入船直三 同 酒卷宗孝 同 佐藤波藏 同 仁科宏造 同 松尾實 同 永井太郎 同 小井淑人 同 内藤雄 同 森永健三 同 横田俊雄 同 大友博 同 跡部保 同 稻葉征 同 喜安貞雄 同 頼安貞 同 伊藤淳吾 同 西藤武雄 同 海軍造兵中佐 伊藤淳吾 同 海軍造兵大佐 頼安貞 同 海軍造機中佐 喜安貞 同 海軍主計中佐 稻葉征 同 海軍機關中佐 跡部保 同 海軍機關大佐 大友博 同 海軍少佐 横田俊 同 海軍中佐 森永健 同 海軍中佐 内藤雄 同 海軍中佐 小井淑 同 海軍中佐 永井太郎 同 海軍中佐 松尾實 同 海軍大佐 仁科宏 同 海軍大佐 佐藤波 同 海軍大佐 酒卷宗 同 海軍大佐 入船直 同 海軍少將 三戸直	海軍書記 舟本善郎 同 海軍技手 松本善郎 同 海軍技手 金谷由漸	團長ハ必要ニ應ジ獨逸又ハ伊太利ニ在ル海軍ノ高等官及判任官ヲ夫々團員又ハ團附ニ任命スルコトヲ得

○艦船所在

印ハハカノ  
指定ヲ要セズ

○一月十三日午前十時

【横須賀】

山城▲赤城▲劍埼▲春日▲駒橋、

曙▲潮▲隴▲雷▲澤風

伊六▲

宗谷、知床、尻矢

(翔鶴)▲(津輕)▲(伊二三)▲(伊一七)▲

(伊三三)▲

【長浦】

國後、多摩

磯風、浦風

伊一三三、伊一二四

驅潜一三

哨一、哨二

【横濱】

千代田

電▲

(香椎)▲(筑紫)▲

(萩風)▲(濱風)▲

【浦賀】

神風、沼風、野風、波風

伊五二

哨三四、哨三五

【吳】

淺間、妙高、扶桑、八雲、

勝力▲三隈、鬼怒

薄雲▲吳竹、早苗、若竹

呂五七▲呂五八▲呂五九▲伊五三▲

【大阪】

球磨▲(日進)▲(伊九)▲(伊二七)▲(伊三五)▲

樞野▲

哨四六

隱戸▲

谷風▲

大井▲

伊三▲

瑞鶴▲(伊一〇)▲(伊一九)▲(伊二二)▲

(伊二二)▲(伊二五)▲(伊三一)▲

(石垣)▲

三月月

襟裳

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲長良▲木曾

哨三六、哨三七

(野分)▲

羽黑▲

衣笠▲

呂三〇▲呂三一▲呂三二▲呂六八▲

伊三九▲伊六〇、伊五九▲伊六五▲

伊六八▲

【神戸】

伊三▲

瑞鶴▲(伊一〇)▲(伊一九)▲(伊二二)▲

(伊二二)▲(伊二五)▲(伊三一)▲

(石垣)▲

三月月

襟裳

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲長良▲木曾

哨三六、哨三七

(野分)▲

羽黑▲

衣笠▲

呂三〇▲呂三一▲呂三二▲呂六八▲

伊三九▲伊六〇、伊五九▲伊六五▲

伊六八▲

【因島】

三月月

襟裳

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲長良▲木曾

哨三六、哨三七

(野分)▲

羽黑▲

衣笠▲

呂三〇▲呂三一▲呂三二▲呂六八▲

伊三九▲伊六〇、伊五九▲伊六五▲

伊六八▲

【下松】

三月月

襟裳

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲長良▲木曾

哨三六、哨三七

(野分)▲

羽黑▲

衣笠▲

呂三〇▲呂三一▲呂三二▲呂六八▲

伊三九▲伊六〇、伊五九▲伊六五▲

伊六八▲

【佐世保】

三月月

襟裳

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲長良▲木曾

哨三六、哨三七

(野分)▲

羽黑▲

衣笠▲

呂三〇▲呂三一▲呂三二▲呂六八▲

伊三九▲伊六〇、伊五九▲伊六五▲

伊六八▲

海軍公報(部内限) 第三千六百九十五號

昭和十六年一月十三日

四五

0526



(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第三千六百九十六號

昭和十六年一月十四日(火)

海軍大臣官房

## ○通牒

艦本機密第八號ノ二二六

昭和十六年一月十一日

海軍艦政本部總務部長

關係各廳長殿

徵備船舶修理ニ關スル件照會

徵備船舶造修手續ニ關シテハ昭和十三年軍務一機密第三〇九號ヲ以テ申進セラレアルニ拘ラズ往々ニシテ直接本省宛請求セラル、向アリ斯クテハ事務處理上統一ヲ缺クノミナラズ所管工作廳トノ連絡ヲ缺ク等ノ不都合有之候條必ラズ右規定ニ依リ處理セラルル様致度

(参照) 昭和十三年八月十三日海軍公報(部内限)

## ○辭令

海軍中佐 林田 綱雄

第二課兼第一課勤務ヲ命ス(海軍省教育局)

## ○雜款

○將旗復歸

吳防備戰隊司令官ハ一月十一日將旗ヲ鬼怒ニ復歸セリ

○司令驅逐艦變更

第六驅逐隊司令ハ一月八日司令驅逐艦ヲ曉ヨリ響ニ變更セリ

○郵便物發送先

當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

記

司令宛

隊機關長、軍醫長宛

主計長宛

(第六驅逐隊)

第十六驅逐隊主計長宛

自今

時津風

當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

記

海軍公報(部内限) 第三千六百九十六號

昭和十六年一月十四日

四七

0528



隊、司令宛  
機關長、軍醫長宛  
主計長宛

菊月 卯月  
夕月 夕月

(第二十三驅逐隊)

當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

記

隊、司令宛

機關長宛

軍醫長宛

主計長宛

追風  
疾風  
朝風  
夕風

(第二十九驅逐隊)

第二港務部宛

東舞鶴郵便局氣付

宮崎丸港務部

○事務所移轉

第二港務部設立準備委員事務所ヲ本月十日宮崎丸内ニ  
移轉セリ

追テ郵便物ハ左記ニ依リ送付相成度

東舞鶴郵便局氣付 宮崎丸内

東郷 大佐

0529

○艦船所在  
指定ヲ要セズ

○一月十四日午前十時

【横須賀】山城▲赤城▲劍埼▲春日▲駒橋、

神威

曙▲潮▲朧▲雷▲澤風

伊六▲

宗谷▲知床▲尻矢

(翔鶴)▲(津輕)▲(伊二三)▲(伊一七)▲

(伊三三)▲

【長浦】

磯風、浦風

伊一三三、伊一二四

驅潜一三

哨一、哨二

【横濱】千代田、P多摩

電▲

(香椎)▲(筑紫)▲

【浦賀】(萩風)▲(濱風)▲

【大湊】(神風、沼風、野風、波風)

伊五二

哨三四、哨三五

大泊

【吳】淺間、妙高▲扶桑▲八雲、

勝力▲三隈、P鬼怒

薄雲▲(吳竹、早苗、若竹)

呂五七▲呂五八▲呂五九▲伊三▲

伊五三▲伊五八▲伊六一▲伊七一▲  
伊七二▲伊一二三▲伊一二一▲  
掃一四、掃一三、掃一五、掃一六

驅潜五三▲

哨四六

樫野▲

日進(伊九)▲(伊二七)▲(伊三五)▲

球磨▲

隱戸▲

谷風▲

大井▲

(瑞鶴)▲(伊一〇)▲(伊一九)▲(伊二一)▲  
(伊二二)▲(伊二五)▲(伊三一)▲

(石垣)▲

三日月▲

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲長良▲木曾

鼠

哨三六、哨三七

(野分)▲

羽黑▲金剛▲榛名▲能登呂▲瑞鳳▲

衣笠▲

呂三〇▲呂三一▲呂三二▲伊三九▲

伊六〇▲伊五九▲伊六五▲伊六八▲

哨三八▲哨三九▲

敷島▲

(八丈)▲(伊一八)▲(伊二四)▲(伊二九)▲

海軍公報(部内限)第三千六百九十六號

昭和十六年一月十四日

四九

0530

【長崎】野島▲  
【古江】沖風  
【鎮海】朝顔、芙蓉

【作業地】

出雲、安宅、比良、二見、熱海、鳥羽、勢多、  
 堅田、保津、伏見、隅田、橋立、口足柄、  
 嵯峨、占守、口名取、口磐手、口長門、  
 陸奥、日向、伊勢、比叡、霧島、加古、  
 古鷹、青葉、阿武隈、川内、龍驤、  
 鳳翔、千歳、瑞穂、高雄、愛宕、鳥海、  
 摩耶、那智、熊野、鈴谷、最上、利根、  
 筑摩、神通、那珂、加賀、飛龍、  
 蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、鹿島、龍田、  
 天龍、沖島、常磐、夕張、迅鯨、  
 香取、大鯨、長鯨、五十鈴、嚴島、  
 八重山、北上、由良、  
 栗、梅、蓮、刈萱、峯風、春風、旗風、  
 松風、朝風、文月、草月、水無月、長月、  
 若葉、初春、初霜、子日、白露、時雨、  
 有明、夕暮、初雪、白雪、吹雪、白雲、  
 東雲、叢雲、綾波、浦波、磯波、敷波、  
 夕霧、狹霧、天霧、朝霧、秋風、羽風、  
 太刀風、夕風、帆風、沙風、卯月、夕月、  
 菊月、追風、疾風、夕風、朝風、曉、響、  
 雪風、天津風、夏潮、親潮、黒潮、初風、  
 不知火、夕立、村雨、春雨、五月雨、  
 朝雲、山雲、峯雲、夏雲、海風、涼風、  
 江風、山風、大潮、荒潮、滿潮、朝潮、

【航海中】

早朝 石廊  
 (十二月十一日桑港發—佐世保—)  
 (十二月十七日桑港發—吳—)

伊陸月、如月、望月、彌生、矢風  
 呂三、呂四、呂三三、呂六二、呂六〇、  
 呂六一、呂六三、呂六四、呂六八、  
 呂六五、呂六六、呂六七、呂八一、  
 伊五、伊四、伊七、伊八、伊一五、  
 伊一六、伊二〇、伊五五、伊五四、  
 伊五六、伊五七、伊六二、伊六四、  
 伊七四、伊七五、伊六九、伊七〇、伊七三、  
 伊七四、伊七五  
 伊鴻、隼、鶴、鶺鴒、鳩、鷺、雉、  
 初雁、翼鶴、友鶴、千鳥  
 掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、  
 掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、  
 掃一〇、掃一一、掃一二  
 驅潛二、驅潛一、驅潛三、驅潛四、  
 驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、  
 驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二  
 明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多、室戸、  
 攝津、間宮、襟裳

0531